

1. 科目名 (単位数)	日本語学演習 I (文法・文体) (2 単位)		3. 科目番号	EJJP3324
2. 授業担当教員	落合 哉人			
4. 授業形態	講義、演習、グループ討議等		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	「日本語学Ⅲ (文法・文体)」を必ず受講しておくこと。			
7. 講義概要	日本語教育の場で文法・文体が実際にどのように取り上げられているか理解する。初等・中等教育で用いられる「国文法 (学校文法)」と日本語教育の「日本語文法」との違いを認識する。初級教科書を用いながら日本語文法・文体を学ぶ。初級教科書を持っている場合は、それを使用する。持っていない場合は、『みんなの日本語 I』(何年版でもよい) を用意する。ただし、それ以外の教科書でも構わない。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 「国文法」と「日本語文法」の専門用語の違いが理解できる。 初級教科書で「日本語文法」が文型として出現する順番が理解できる。 初級教科書で出現した文型について教えることができる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	<ol style="list-style-type: none"> 各回の発表担当者は、発表資料を作成すること (箇条書きは禁止、引用は適切に行うこと)。 各回の非発表担当者は、あらかじめ教科書の内容を踏まえて疑問点を用意すること (用意した疑問点は授業内において適宜発表を求める)。 期末レポート： 自分の担当回の内容について初級～上級のいずれかの日本語学習者がどのように習得する項目であり、日本語教師が効果的な習得のため、どのような教え方をするとよいかA4、1枚でまとめる。 			
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】名古屋大学日本語研究会 GA6『ふしぎ発見！日本語文法。』三弥井書店、2007			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校文法と日本語教育の文法の違いが理解できたか。 日本語の文法・文体が初級教科書でどのように扱われているか理解できたか。 日本語の文法・文体を初級でどう教えるか考えられたか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業への参加態度 総合点の 30% 課題 (ワークシート、発表等) 総合点の 30% 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% <p>上記の他に、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の修得の条件であることも配慮した。</p>			
12. 受講生への メッセージ	一口に「文法」と言っても日本語を教える際に問題となる文法項目は多岐にわたり、それぞれの項目が独自の論点 (=教える際に問題となりうる点) を持っています。この授業では、みなさんからの発表及び質疑応答を通して日本語の「文法」にどのような論点があるか体系的に学びを深めていきます。			
13. オフィスアワー	授業内で知らせる。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	イントロダクション：授業の進め方について	事前学習	教科書の目次を確認し、第 6 回～第 16 回及び第 19 回、第 20 回、第 22 回のうち、どの章のテーマに興味があるか考えておく。	
		事後学習	「中納言」を使えるようにしておく。	
第 2 回	述語と項 (教科書第 6 回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。	
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。	
第 3 回	自動詞・他動詞 (教科書第 7 回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。	
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。	
第 4 回	動詞分類とテンス・アスペクト (教科書第 8 回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。	
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。	
第 5 回	受け身 (教科書第 9 回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。	
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。	
第 6 回	ら抜き・レタス・さ入れ (教科書第 10 回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。	
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。	
第 7 回	補語・名詞修飾 (教科書第 11 回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。	
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との	

			結びつきをさらに調べる。
第8回	話し手の認識に関わる表現（教科書第12回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第9回	命令・禁止と疑問の表現（教科書第13回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第10回	つなぐ言葉と条件表現（教科書第14回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第11回	副詞のさまざま・連用修飾（教科書第15回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第12回	語用論（教科書第16回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第13回	さまざまな視点と制限（教科書第19回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第14回	コソア・ダイクシス（教科書第20回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第15回	「は」と「が」にまつわる話（教科書第22回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。